

2012 年 10 月 9 日

株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズ
株式会社博報堂

博報堂 D Y メディアパートナーズ・博報堂 出版ビジネスセンター、 出版社や書店の“スマホ向け電子書籍”販促支援を強化

書籍リコメンドアプリ『リコメン文芸部』を活用した
スマホユーザー向け書籍プロモーション手法を開発、提供開始

株式会社博報堂 D Y メディアパートナーズと株式会社博報堂の横断プロジェクト「博報堂 D Y メディアパートナーズ・博報堂 出版ビジネスセンター」(※1) は、出版社や書店のスマートフォン上での電子書籍販促支援の強化を目的として、スマートフォンユーザーが“楽しく書籍を選べる”書籍リコメンドアプリ『リコメン文芸部』を開発し、本アプリを活用した出版社や書店向けの電子書籍販促支援サービスを開始いたします。

◆開発の背景

電子書籍市場の拡大が進んでいます。これまではコミックを中心とした従来型携帯向け電子書籍がそのけん引役となっていました。今後は専用端末を含めた新たなプラットフォーム向けの市場が注目されています。その中で、スマートフォンの急速な普及による「スマートフォン読書市場」も、新たな電子書籍マーケットの一つとして急伸していくことが見込まれています。

「博報堂 D Y メディアパートナーズ・博報堂 出版ビジネスセンター」は、この状況を踏まえて、スマートフォンユーザーの特性に合わせた“楽しい書籍選択”という新しい電子書籍プロモーション手法を開発しました。この手法を用いて出版社や書店の販促活動を支援するとともに、ユーザーに有益な書籍情報を提供することで読書意欲を高め、「スマホ読書市場」全体の活性化も目指します。

◆サービス内容

独自開発の書籍リコメンドアプリ『リコメン文芸部』を活用した、電子書籍の販促支援サービスです。

『リコメン文芸部』とは、若い世代を中心としたスマートフォンユーザーの行動特性や関心に合わせた“楽しい書籍選択”により、数多くのジャンルと膨大な数の書籍の中から、ユーザーへの「おすすめの一冊」を提案（リコメンド）するアプリです。

「ランダムに表示される質問に答えていくと、その時の気分に合わせたおすすめの一冊を紹介」「カードを選ぶと、今日のラッキーライトノベルをお知らせ」等、さまざまな方法でユーザーの書籍選択をエンターテインメント化し、興味喚起・購入へとつなげます。

アプリの設計は、出版社や書店のキャンペーン目的によって、書籍選択の方法やリコメンド結果、画面・キャラクターデザインなど、全般の要素をカスタマイズすることが可能です。

(ご活用方法例)

- ・出版社の新しい自社メディアとして、キャンペーンツールとして
- ・電子書店のキャンペーンツールとして
- ・新聞・雑誌・番組等の書評コーナーの立体的プロモーションとして

※アプリ制作は博報堂 D Y グループのデジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社が担当します。

※『リコメン文芸部』のサンプル版（Android 用）が、Google Play より無料ダウンロード可能です。

博報堂 D Y メディアパートナーズ・博報堂 出版ビジネスセンターは、今後も、出版社・媒体社の皆さまのパートナーとして、電子書籍領域での新しいサービス開発に積極的に取り組んでまいります。

(以下、詳細情報)

『リコメン文芸部』 サンプル版アプリ for Android (アプリのダウンロード→書籍選択→お勧め→購入までの流れを体験可能)

『リコメン文芸部』(サンプル版)は、「読みたい本を探す」をエンターテインメント化し、新たな書籍との出会いを楽しむ新感覚の書籍おすすめアプリです。架空の読書サークル『リコメン文芸部』の顧問や部員たちが各々担当する4つのジャンルでコンテンツをおすすめします。

1.顧問の“本多先生”は「文芸」

メイン機能である“本多先生”は、ランダムに表示される5つの質問に答えていくとおすすめの紙の書籍3冊を推薦してくれます。おすすめする書籍は、株式会社本の雑誌社が運営する「本の雑誌」編集部が本アプリ向けに厳選し、おすすめコメントを書き下ろしました。

2.部長の“もえこ”は「ライトノベル」

もえこ機能は、株式会社 BookLive が運営する総合電子書籍ストア「BookLive!」(※1)にて配信中のライトノベルよりおすすめします。

3.部員の“おたろう”は「コミック」

おたろう機能は、デジタルカパルト株式会社が運営する電子書籍マーケット「ソク読み」(※2)のコミックランキング情報からおすすめします。

4.部犬の“わろ太”は「同人電子マガジン」

わろ太機能は、同人 Web マガジンコミュニティ「新都社(にいとしゃ)」(※3)の新着情報のコンテンツ紹介をおこないます。



【TOP画面】

【本多先生】

【もえこ】

【おたろう】

【わろ太】

(※1) 株式会社 BookLive「BookLive!」 <http://booklive.jp/>

(※2) デジタルカパルト株式会社「ソク読み」 <http://sokuyomi.jp/>

(※3) 新都社 <http://neetsha.jp/>

アプリ名称： リコメン文芸部

提供場所： Google play (<https://play.google.com/store>)

カテゴリ： コミック

言語： 日本語

対応 OS： Android2.2 以上

提供価格： 無料

(※1)

「博報堂DYメディアパートナーズ・博報堂 出版ビジネスセンター」概要

【発足日】

2012年6月1日

【発足目的】

出版社の新規ビジネス開発支援の強化

【構成メンバー】

出版社との広告取引窓口となる博報堂DYメディアパートナーズ雑誌局と、出版社を広告主とし営業対応を行う博報堂出版・コンテンツビジネス局の両部門に所属する局員全員（約200名）

【リーダー】

榊原廣（博報堂DYメディアパートナーズ雑誌局長）

山本浩（博報堂出版・コンテンツビジネス局長）

本件に関するお問い合わせ先

<報道関係者様からのお問合せ>

博報堂DYメディアパートナーズ 広報室 山崎 TEL：03-6441-9347
博報堂 広報室 藤井・山野 TEL：03-6441-6161

<サービス導入に関するご相談>

博報堂DYメディアパートナーズ・博報堂 出版ビジネスセンター 細井・藤本 TEL：03-6441-6706